

添付した資料は、希望に関するアンケートの結果を示す図や、やりがいのある仕事に就くことと希望をもつこととの関係を物語る文章です。これらの資料を読んで、以下の問題に答えなさい。解答は、別紙解答用紙に書くこと。解答する際には、問1①、問1②、問2と冒頭に記してから解答すること。なお、解答の冒頭に記す問1①などは、字数に含まれません。

問1 資料1の図1、2について、以下の問題に答えなさい。

① 図1は、20歳代から40歳代の就業者について、小中学生時代に希望していた職業の有無と、その希望が実現したとした割合を示したものです。

図1から読み取れることを、150字以内で書きなさい。

② 図2は、中学3年生のときの職業希望状況とその変遷別に、「やりがいのある仕事に就いたことがある」とした割合を示したものです。

図2から読み取れることを、150字以内で書きなさい。

問2 資料2の「希望の定義」を参照しつつ、資料3の文章を読み、人間が生きていくうえで希望が果たす役割について、自分の考えを、600字以上、800字以内で述べなさい。

出典：

資料1. 玄田有史編著、『希望学』、中央公論新社、2006年、pp.64、68

資料2. 玄田有史著、『希望のつくり方』岩波書店、2010年、pp.44-45

資料3. 玄田有史著、『希望のつくり方』岩波書店、2010年、pp.108-110